

調査結果の概要

1 平成30年の概況

～生産・出荷・在庫指数の全てが前年より低下～

- 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫いずれも前年を下回った（生産100.3〔前年比▲2.5%低下〕、出荷99.7〔前年比▲2.4%低下〕、在庫85.1〔前年比▲14.4%低下〕）。

～四半期別（季節調整済指数）でみると～

- 生産指数は、平成30年Ⅰ期とⅢ期は前期を下回り、Ⅱ期とⅣ期は前期を上回った。平成30年Ⅲ期は前期を▲10%以上も下回ったが、平成30年Ⅳ期は10%以上も前期を上回った。
- 出荷指数は、平成30年Ⅰ期とⅢ期は前期を下回り、Ⅱ期とⅣ期は前期を上回った。平成30年Ⅲ期は前期を▲10%以上も下回ったが、平成30年Ⅳ期は10%以上も前期を上回った。
- 在庫指数は、平成30年Ⅱ期は前期を上回ったが、それ以外の平成30年Ⅰ期とⅢ期からⅣ期は前期を下回った。

(1) 生産

- ・ 生産指数は、100.3(前年比 ▲2.5%低下)。現行基準で比較可能な平成25年以降で初めて前年を下回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、家具工業、一般機械工業(総合)、ゴム製品工業の3業種で上昇し、木材・木製品工業は横ばい、食料品・たばこ工業、輸送機械工業、金属製品工業など14業種で低下した(図2)。

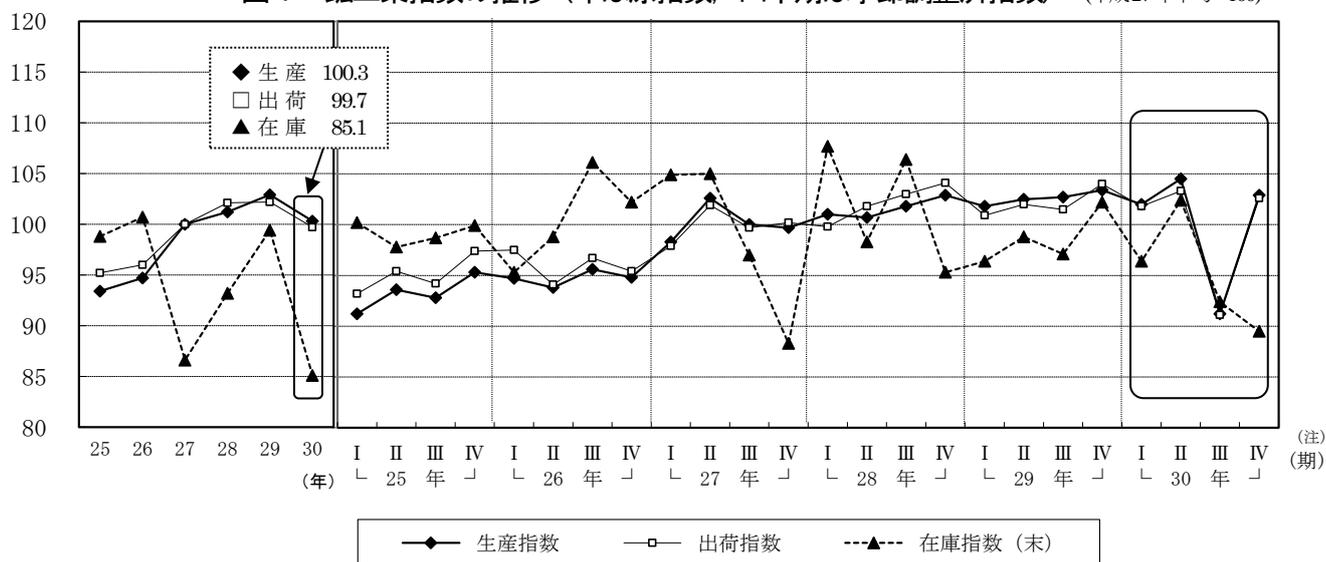
(2) 出荷

- ・ 出荷指数は、99.7(前年比 ▲2.4%低下)。現行基準で比較可能な平成25年以降で初めて前年を下回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、その他製品工業、家具工業、ゴム製品工業の3業種で上昇し、食料品・たばこ工業、プラスチック製品工業、電子部品・デバイス工業など15業種で低下した。

(3) 在庫(期末)

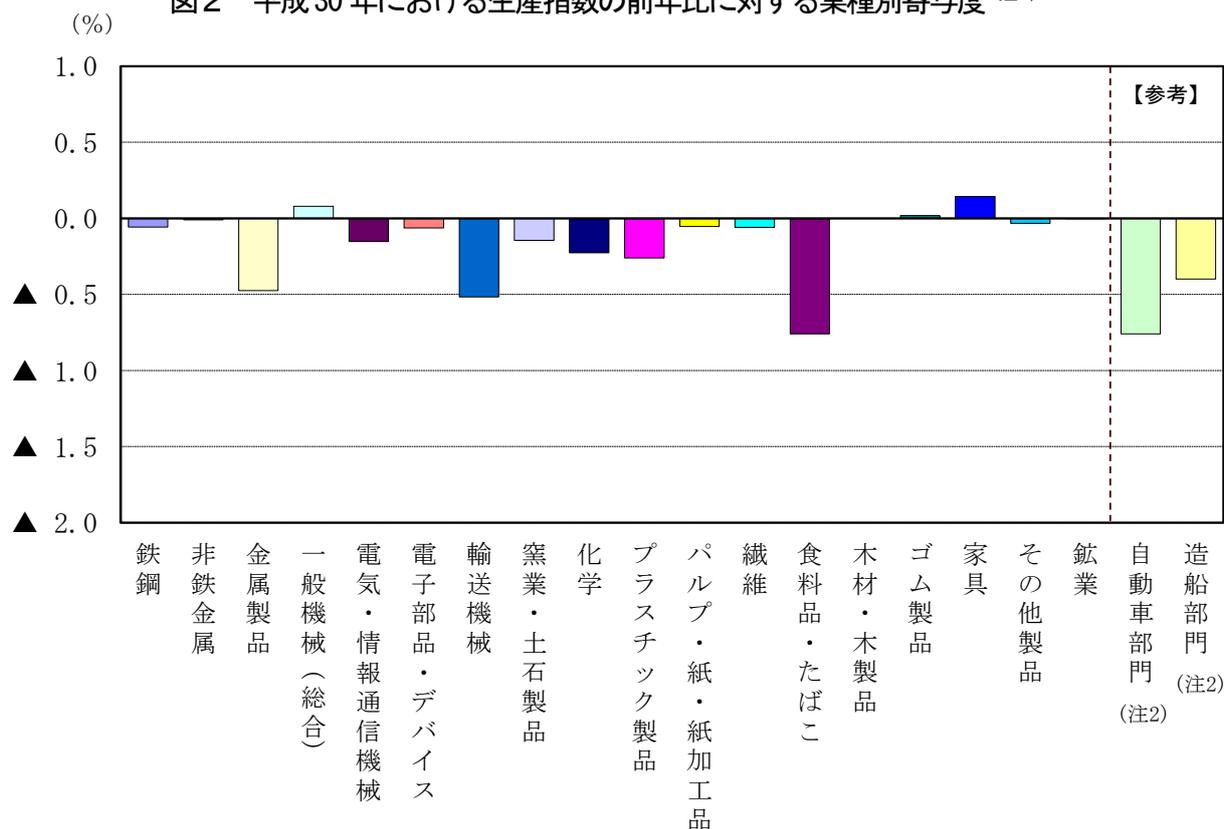
- ・ 在庫指数(期末在庫)は、85.1(前年比 ▲14.4%低下)。3年ぶりに前年を下回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、鉄鋼業、一般機械工業(総合)、繊維工業など10業種で上昇し、鉱業は横ばい、輸送機械工業、金属製品工業、食料品・たばこ工業など6業種で低下した。

図1 鉱工業指数の推移（年は原指数，四半期は季節調整済指数）（平成27年平均=100）



(注) Ⅰ期：1～3月，Ⅱ期：4～6月，Ⅲ期：7～9月，Ⅳ期：10～12月

図2 平成30年における生産指数の前年比に対する業種別寄与度 (注1)



(注1) 寄与度とは、指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したもの。

(注2) 「自動車部門」：輸送機械工業19品目のうち、普通自動車など自動車関連11品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具及びプラスチック製品工業のプラスチック機械部品_輸送機械用の合計。

「造船部門」：輸送機械工業のうち、鋼船新造など造船関係5品目の合計。

生産の業種別動向 (寄与度順)

(1) 前年比が上昇した主な業種

| 上昇した主な業種 | 前年比 | 寄与度 | 上昇した主な品目 |
|------------|-------|-------|---------------------------------|
| 家具工業 | 25.9% | 0.14% | その他の金属製家具, 木製応接いす・食卓いす, 木製その他家具 |
| 一般機械工業(総合) | 0.5% | 0.08% | 印刷機械, ポンプ, 半導体製造装置 |
| ゴム製品工業 | 1.3% | 0.02% | 工業用ゴム製品, その他のゴム製品, 更生タイヤ用練生地 |

(2) 前年比が低下した主な業種

| 低下した主な業種 | 前年比 | 寄与度 | 低下した主な品目 |
|-----------|--------|--------|--------------------|
| 食料品・たばこ工業 | ▲10.4% | ▲0.8% | 清涼嗜好飲料, 冷凍調理食品, 清酒 |
| 輸送機械工業 | ▲1.6% | ▲0.52% | 普通自動車, 鋼船新造, 機関部品 |
| 金属製品工業 | ▲17.6% | ▲0.47% | 飲料用缶, 製缶類, グレーチング |

3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種いずれも低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、平成30年は、機械関連業種は現行基準で比較可能な平成25年以降で初めて低下、素材関連業種は3年ぶりの低下、生活関連業種は3年連続の低下となった(図3、4)。

図3 生産指数の前年比の推移

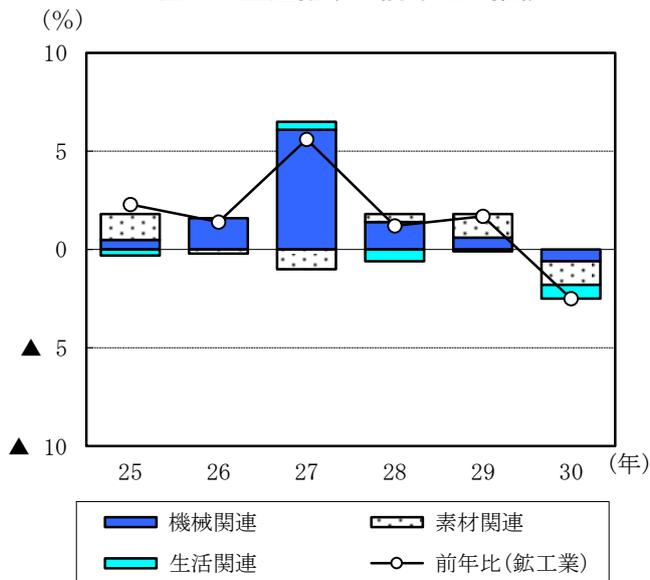
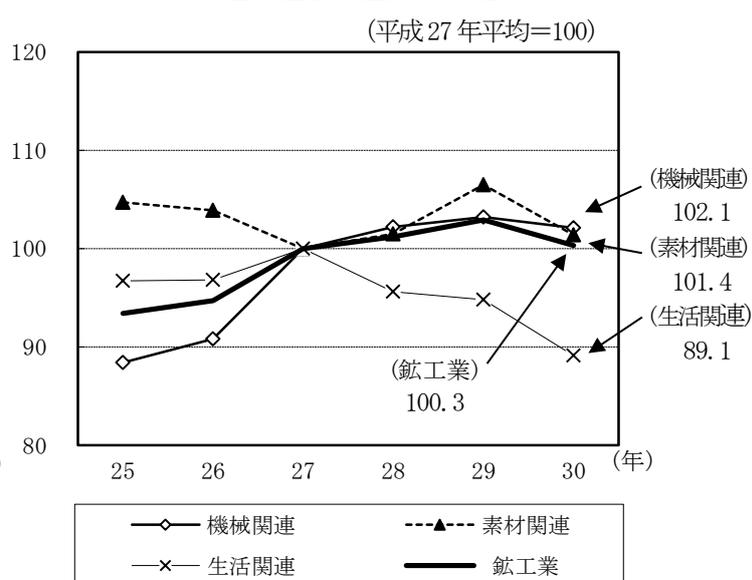


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

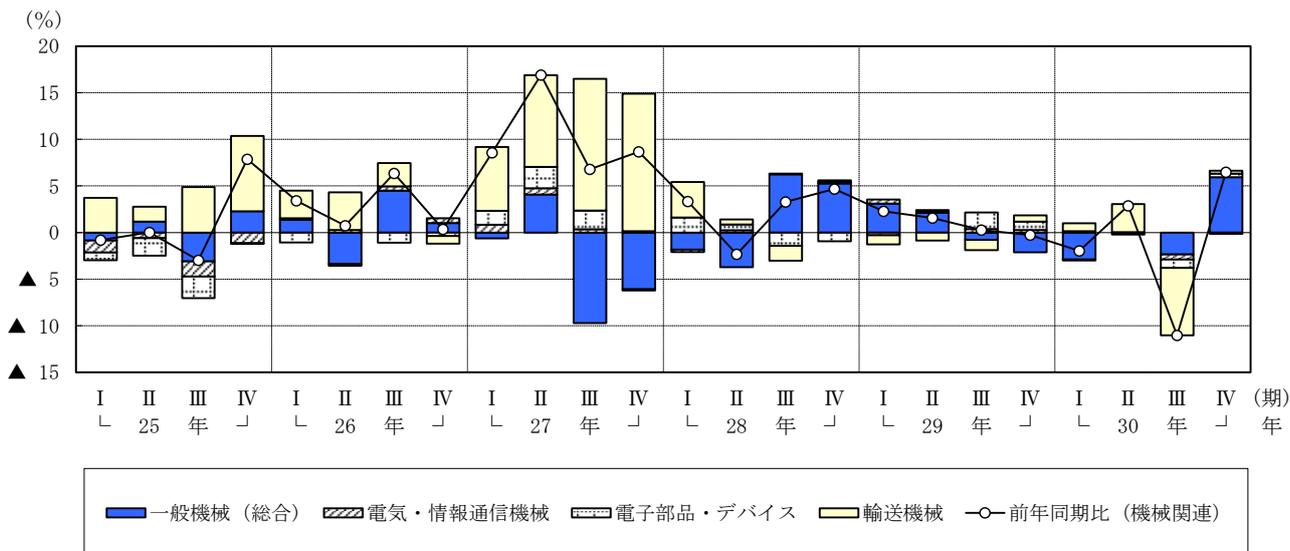
(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、平成30年はⅢ期で大幅マイナス

機械関連業種の生産指数は、全業種がⅢ期でマイナスに寄与し、特に輸送機械工業の寄与が大きなものとなった。前年同期比も▲10%を下回り、現行基準で比較可能な平成25年以降では過去最低となった(図5)。

| 機械関連 | 平成30年Ⅰ期 | Ⅱ期 | Ⅲ期 | Ⅳ期 |
|----------|---------|-------|--------|-------|
| 原指数 | 103.1 | 102.3 | 93.3 | 109.9 |
| 前年同期比(%) | ▲ 2.0 | 2.9 | ▲ 11.0 | 6.5 |

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業(総合)

一般機械工業(総合)は、108.6(前年比 0.5%上昇)。ショベル系掘削機械、紙工機械などが低下したものの、印刷機械、ポンプなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年IV期に6期ぶりに前年同期を上回った。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、102.9(前年比 ▲5.2%低下)。電気測定機、開閉制御装置などが上昇したものの、電気計器、自動車用電気照明器具などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年I期に8期ぶりに前年同期を下回り、平成30年は全期で前年同期を下回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、103.1(前年比 ▲0.6%低下)。大規模集積回路、プロジェクションスクリーンなどが上昇したものの、集積回路、液晶用カラーフィルターなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年III期に6期ぶりに前年同期を下回ったものの、平成30年IV期は前年同期を上回った。

④ 輸送機械工業

輸送機械工業は、98.6(前年比 ▲1.6%低下)。航空機部品、鉄道車両などが上昇したものの、普通自動車、鋼船新造などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年III期に4期ぶりに前年同期を下回ったものの、平成30年IV期は前年同期を上回った。

【参考】自動車部門

自動車部門は、104.4(前年比 ▲2.8%低下)。計器類、シャシー及び車体部品などが上昇したものの、普通自動車、機関部品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年III期に6期ぶりに前年同期を下回り、平成30年IV期も前年同期を下回った。

【参考】造船部門

造船部門は、74.4(前年比 ▲6.8%低下)。船用蒸気タービンが上昇したものの、鋼船新造、鋼船修理などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅰ期から11期連続で前年同期を下回っていたが、平成30年Ⅳ期に12期ぶりに前年同期を上回った。

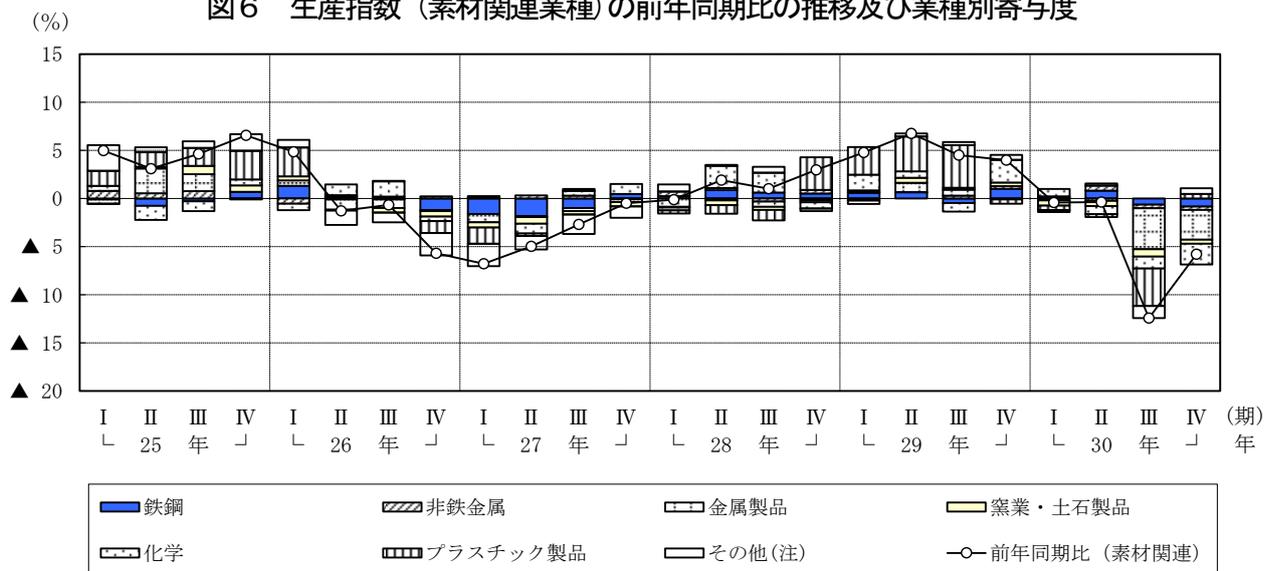
(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、平成30年Ⅰ期に8期ぶりのマイナス

素材関連業種の生産指数は、平成30年Ⅰ期に平成28年Ⅰ期以来8期ぶりのマイナスとなり、平成30年は全期で前年同期を下回った。平成30年Ⅲ期は、全業種でマイナスに寄与し、前年同期比も、現行基準で比較可能な平成25年以降で初めて▲10%を下回った(図6)。

| 素材関連 | 平成30年Ⅰ期 | Ⅱ期 | Ⅲ期 | Ⅳ期 |
|----------|---------|-------|--------|-------|
| 原指数 | 103.6 | 104.3 | 93.9 | 103.6 |
| 前年同期比(%) | ▲ 0.4 | ▲ 0.4 | ▲ 12.4 | ▲ 5.8 |

図6 生産指数(素材関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



(注) 「その他」はパルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の合計。

① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、103.1(前年比 ▲1.0%低下)。特殊鋼鋼管、特殊鋼冷間仕上鋼材などが上昇したものの、鋼帯、ティンフリースチールなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅱ期は前年同期を上回ったが、それ以外の平成30年Ⅰ期とⅢ期からⅣ期は前年同期を下回った。

② 非鉄金属工業

非鉄金属工業の生産指数は、103.5(前年比 ▲0.7%低下)。アルミニウムダイカストが上昇したものの、電気銀、アルミニウム鋳物などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅲ期に8期ぶりに前年同期を下回り、平成30年Ⅳ期も前年同期を下回った。

③ 金属製品工業

金属製品工業は、82.9(前年比 ▲17.6%低下)。水門(水門巻上機を含む)、スチール・ステンレス_ドアなどが上昇したものの、飲料用缶、製缶類などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅰ期に2期ぶりにプラスに転じたものの、平成30年Ⅱ期からⅣ期は3期連続で前年同期を下回った。

④ 窯業・土石製品工業

窯業・土石製品工業は、92.0(前年比 ▲7.4%低下)。道路用コンクリート製品、複層ガラスなどが上昇したものの、生コンクリート、石灰などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅰ期に4期ぶりにマイナスに転じ、平成30年は全期で前年同期を下回った。

⑤ 化学工業

化学工業は、106.8(前年比 ▲6.7%低下)。医薬品、ウレタンフォームなどが上昇したものの、メタクリル酸エステル(モノマー)、アクリロニトリルなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅰ期は前年同期を上回ったが、平成30年Ⅱ期に3期ぶりにマイナスに転じ、平成30年Ⅳ期まで3期連続で前年同期を下回った。

⑥ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、108.7(前年比 ▲4.6%低下)。フィルム_硬質製品、日用品・雑貨などが上昇したものの、光学フィルム、プラスチック機械部品_その他などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成29年Ⅳ期から平成30年Ⅲ期まで4期連続で前年同期を下回ったが、平成30年Ⅳ期に5期ぶりに前年同期を上回った。

⑦ パルプ・紙・紙加工品工業

パルプ・紙・紙加工品工業は、100.8(前年比 ▲6.3%低下)。段ボールシート、工業用雑種紙が上昇したものの、製紙_ソルプ、情報用紙などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年は全期で前年同期を下回り、平成29年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。

⑧ 木材・木製品工業

木材・木製品工業は、106.0(前年比 横ばい)。製材品が上昇し、特殊合板が低下した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅲ期に5期ぶりにマイナスに転じたものの、平成30年Ⅳ期は前年同期を上回った。

⑨ ゴム製品工業

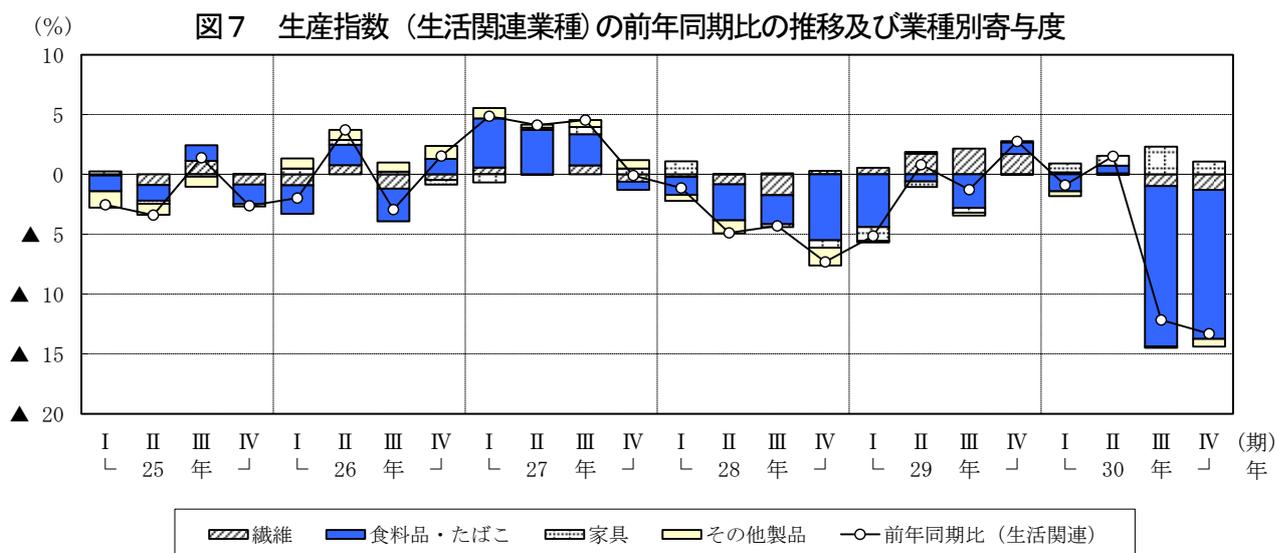
ゴム製品工業は、98.6(前年比 1.3%上昇)。運動競技用品_ゴム製品、自動車用タイヤ(特殊車両用)が低下したものの、工業用ゴム製品、その他のゴム製品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅰ期とⅢ期は前年同期を下回り、平成30年Ⅱ期とⅣ期は前年同期を上回った。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、平成30年Ⅲ期からⅣ期が大幅なマイナス

生活関連業種の生産指数は、家具工業は全期プラスで推移したものの、食料品・たばこ工業が平成30年Ⅲ期からⅣ期に大きくマイナスに寄与した。前年同期比も平成30年Ⅲ期からⅣ期は、現行基準で比較可能な平成25年以降で初めて▲10%を下回った(図7)。

| 生活関連 | 平成30年Ⅰ期 | Ⅱ期 | Ⅲ期 | Ⅳ期 |
|----------|---------|------|--------|--------|
| 原指数 | 94.3 | 99.4 | 79.2 | 83.4 |
| 前年同期比(%) | ▲ 0.9 | 1.5 | ▲ 12.2 | ▲ 13.3 |



① 繊維工業

繊維工業は、102.7(前年比 ▲3.3%低下)。合成繊維、不織布などが上昇したものの、綿織物、再生・半合成繊維などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅲ期に8期ぶりにマイナスに転じ、平成30年Ⅳ期まで2期連続で前年同期を下回った。

② 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、82.9(前年比 ▲10.4%低下)。肉製品、調味料(しょうゆ)などが上昇したものの、清涼し好飲料、冷凍調理食品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年Ⅱ期は前年同期を上回ったものの、平成30年Ⅰ期とⅢ期からⅣ期は前年同期を下回った。

③ 家具工業

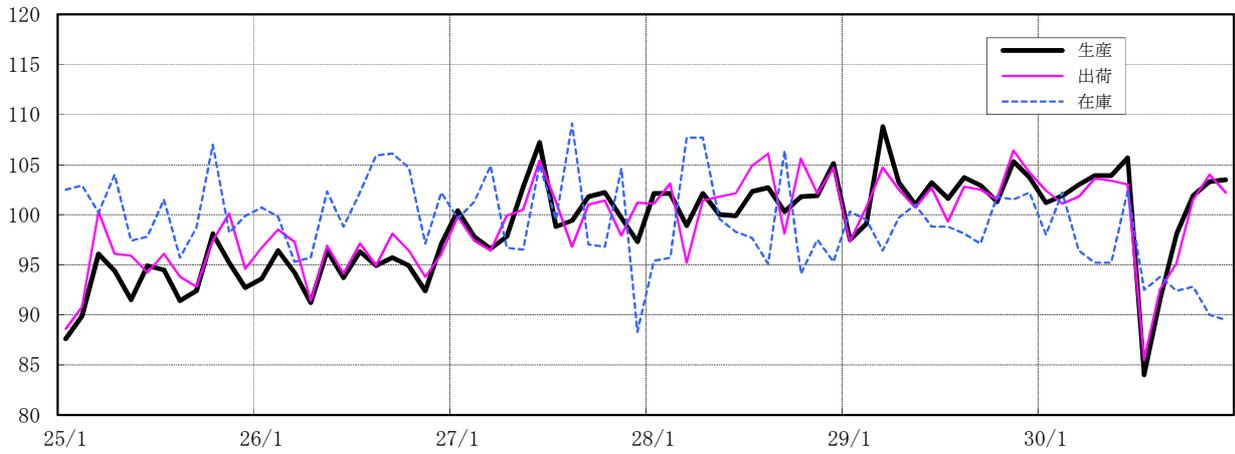
家具工業は、115.6(前年比 25.9%上昇)。木製たんす、木製机が低下したものの、その他の金属製家具、木製応接いす・食卓いすなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年は全期で前年同期を上回り、平成29年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を上回った。

④ その他製品工業

その他製品工業は、93.8(前年比 ▲1.6%低下)。看板が上昇したものの、コークス、ボールペンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成30年は全期で前年同期を下回り、平成29年Ⅲ期以降6期連続で前年同期を下回った。

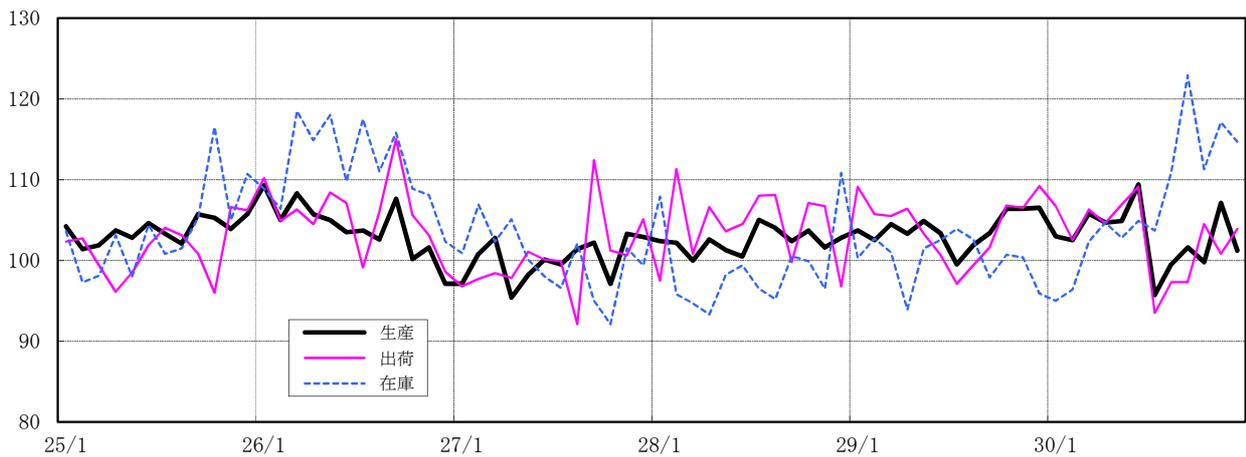
4 業種別季節調整済指数の推移（平成27年平均＝100）

鋳工業（付加価値額ウェイト＝10000.0）



(年/月)

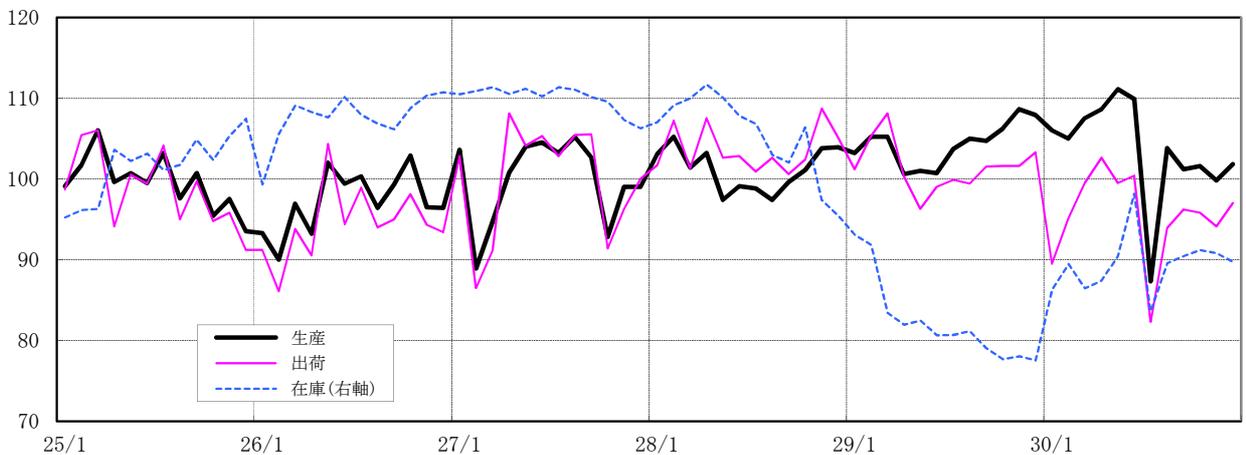
鉄鋼業（付加価値額ウェイト＝600.3）



(年/月)

生産・出荷

非鉄金属工業（付加価値額ウェイト＝148.8）

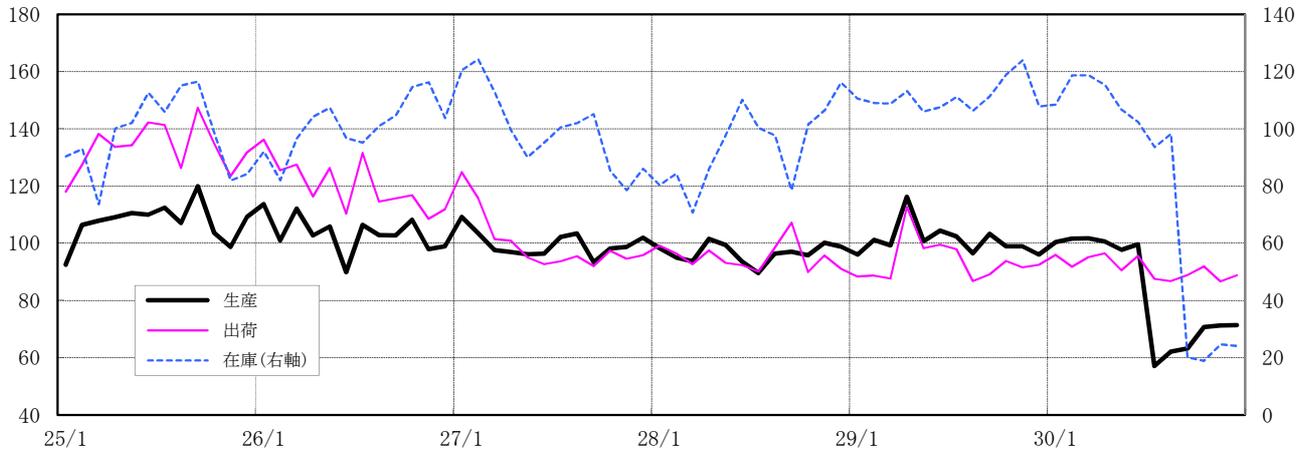


(年/月)

生産・出荷

金属製品工業（付加価値額ウェイト＝276.0）

在庫

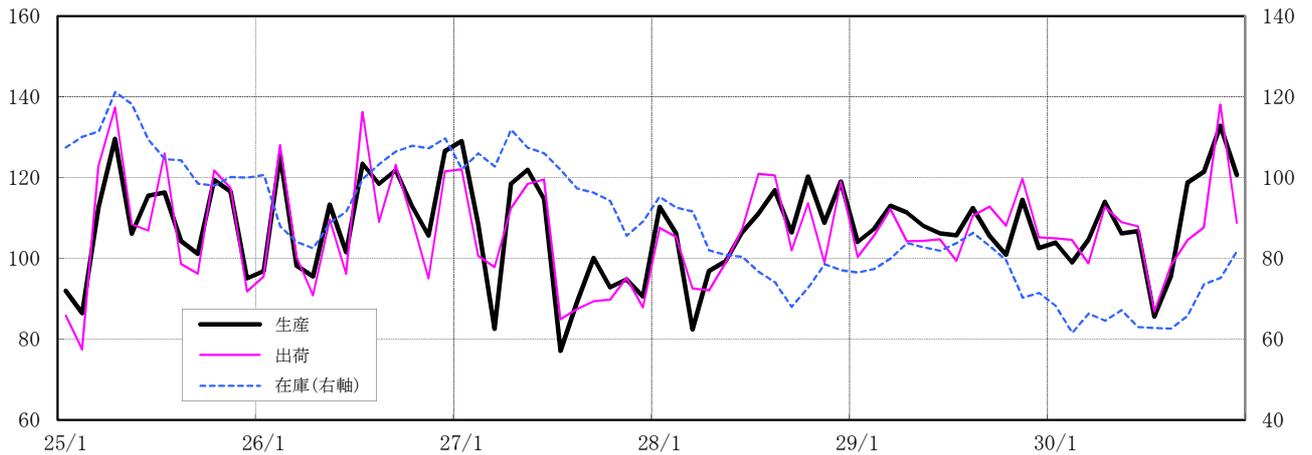


(年/月)

生産・出荷

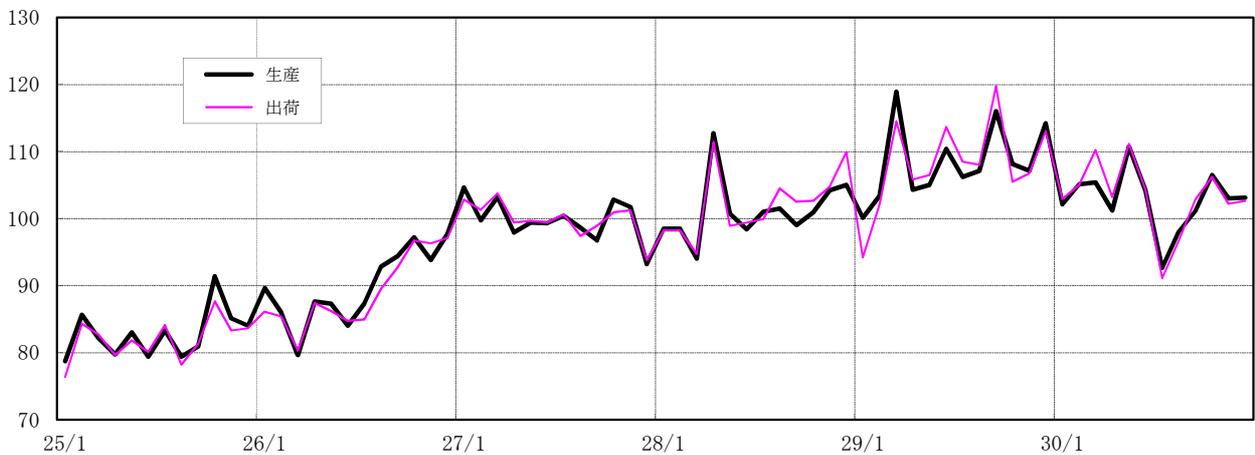
一般機械工業（総合）（付加価値額ウェイト＝1605.0）

在庫



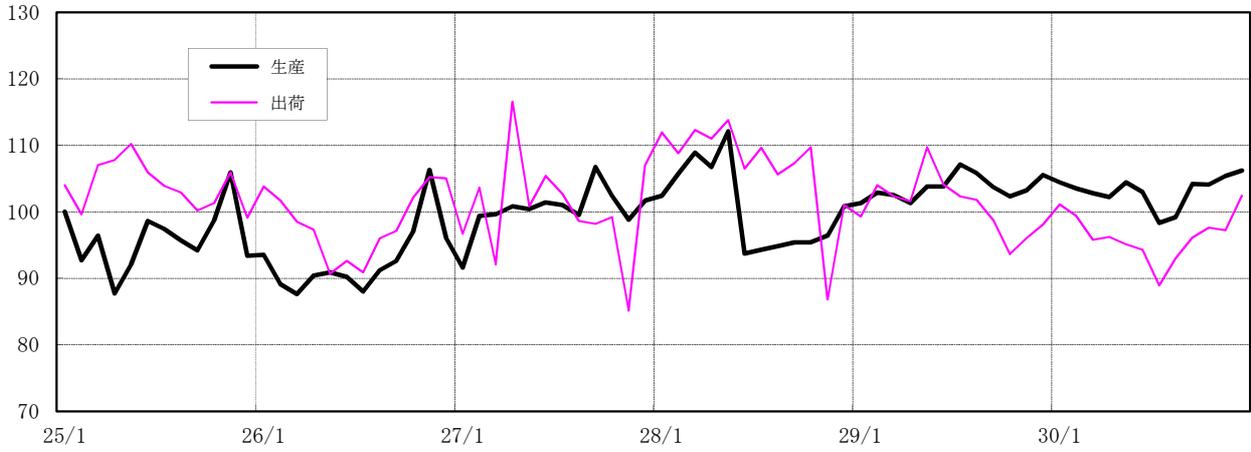
(年/月)

電気・情報通信機械工業（付加価値額ウェイト＝280.9）



(年/月)

電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト=1091.1）

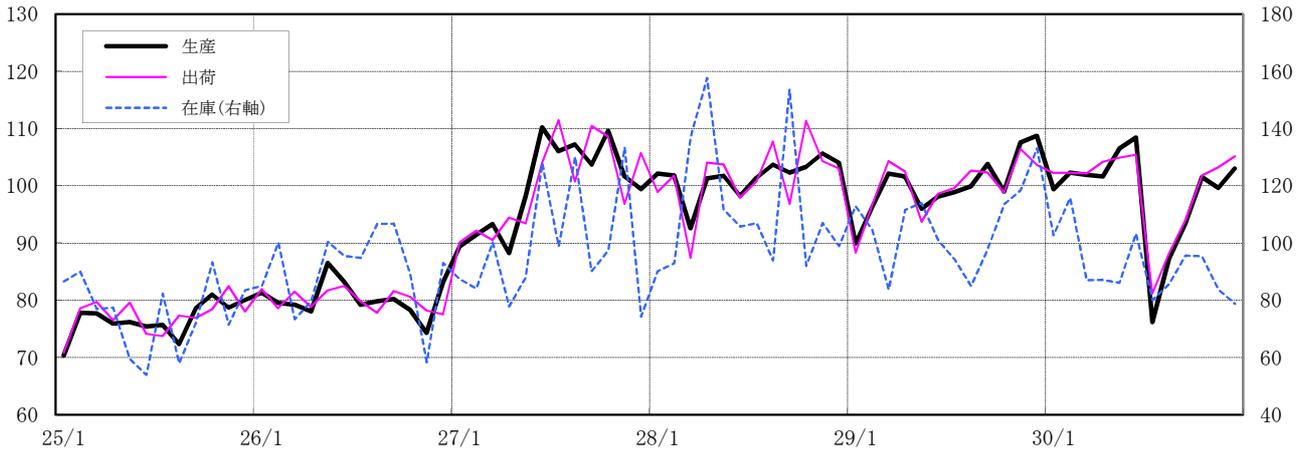


(年/月)

生産・出荷

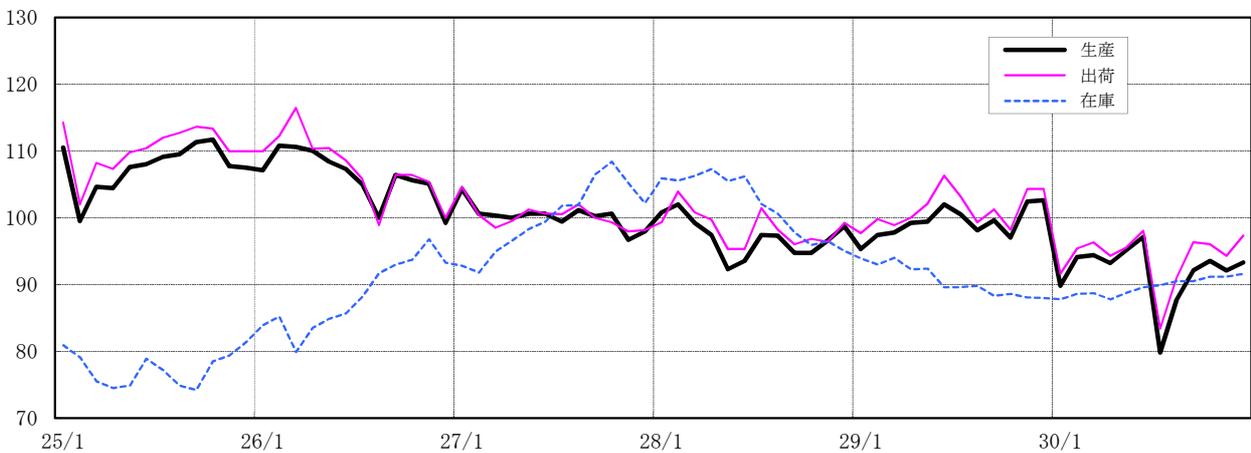
輸送機械工業（付加価値額ウェイト=3327.2）

在庫



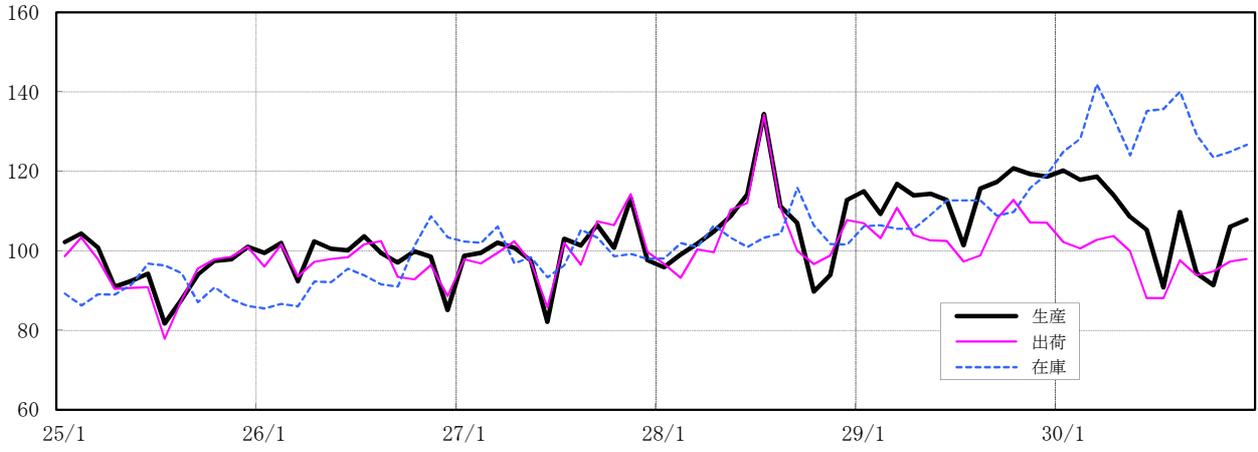
(年/月)

窯業・土石製品工業（付加価値額ウェイト=202.0）



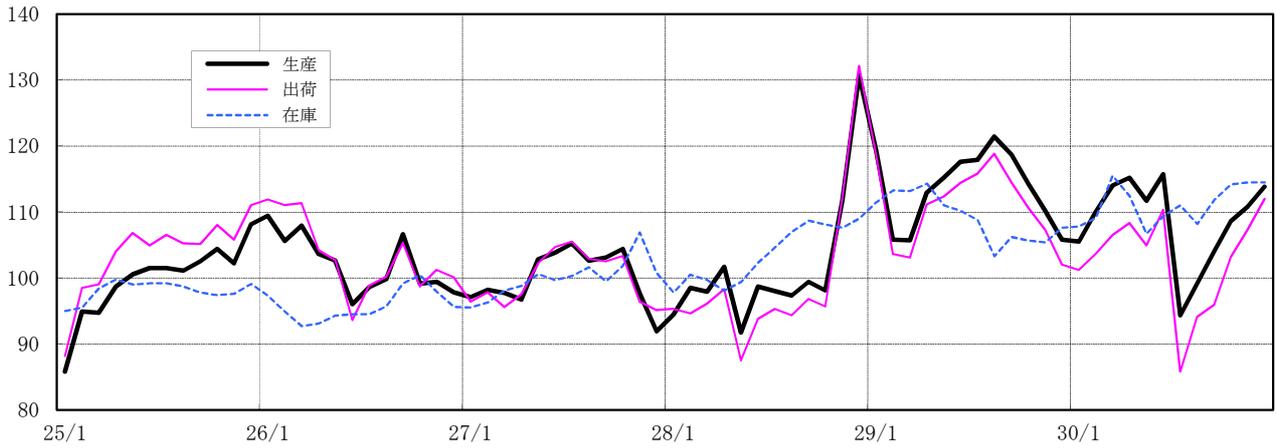
(年/月)

化学工業（付加価値額ウェイト=302.5）



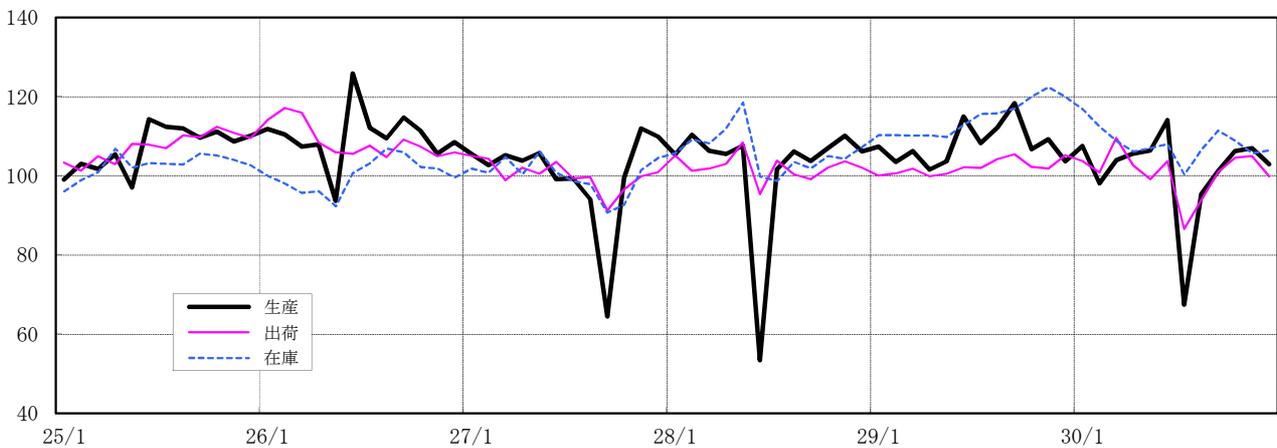
(年/月)

プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト=504.9）



(年/月)

パルプ・紙・紙加工品工業（付加価値額ウェイト=82.9）

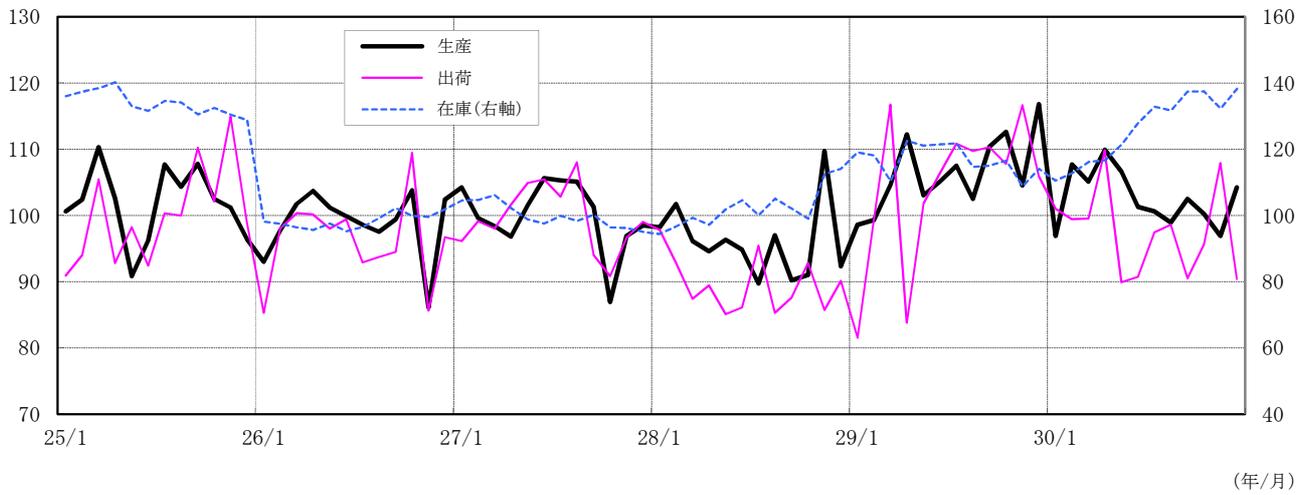


(年/月)

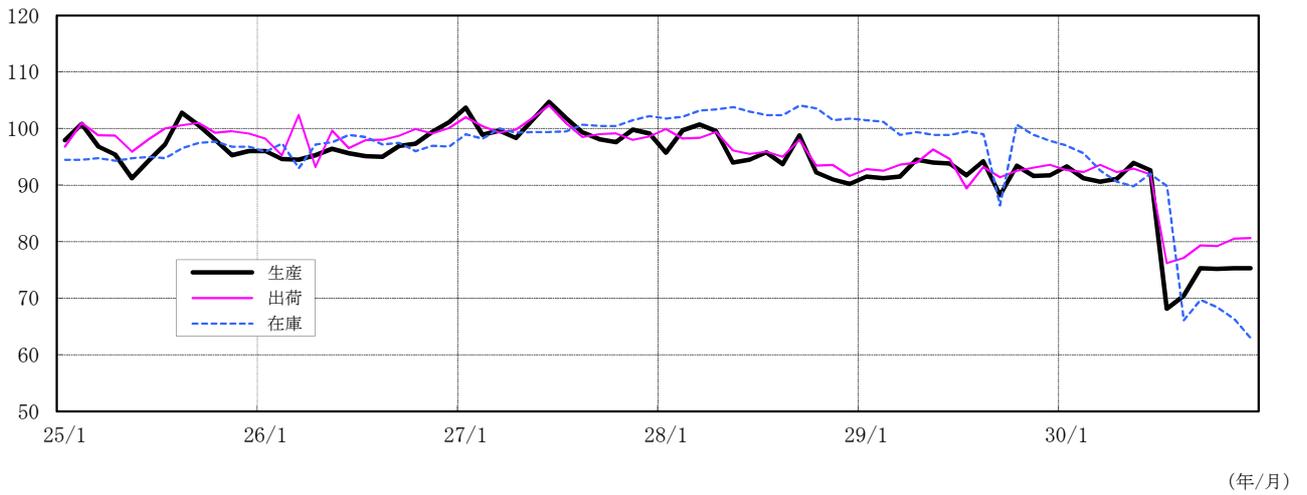
生産・出荷

繊維工業（付加価値額 \times 173.3）

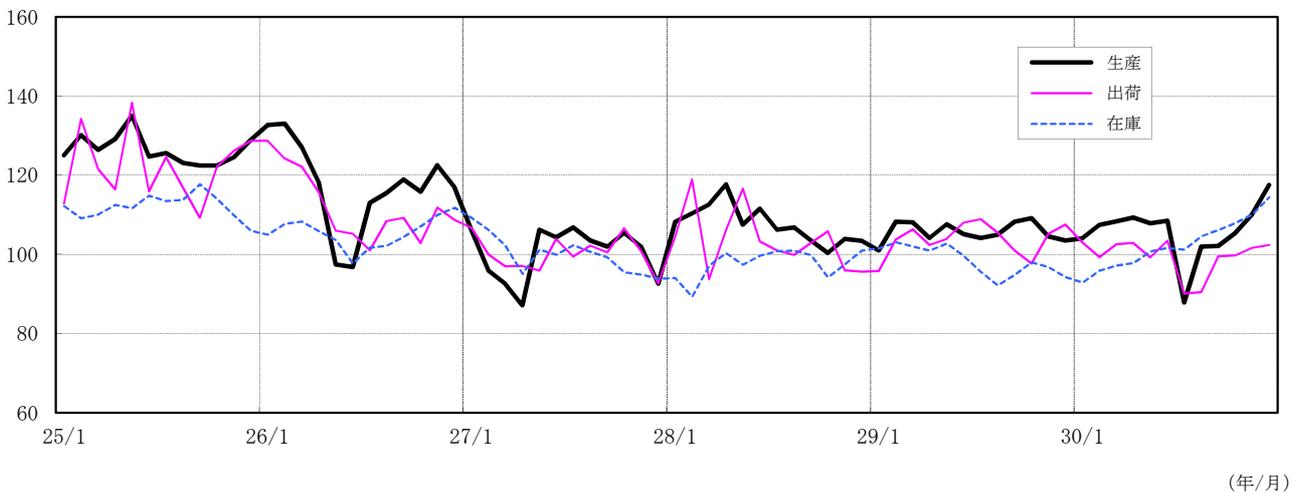
在庫



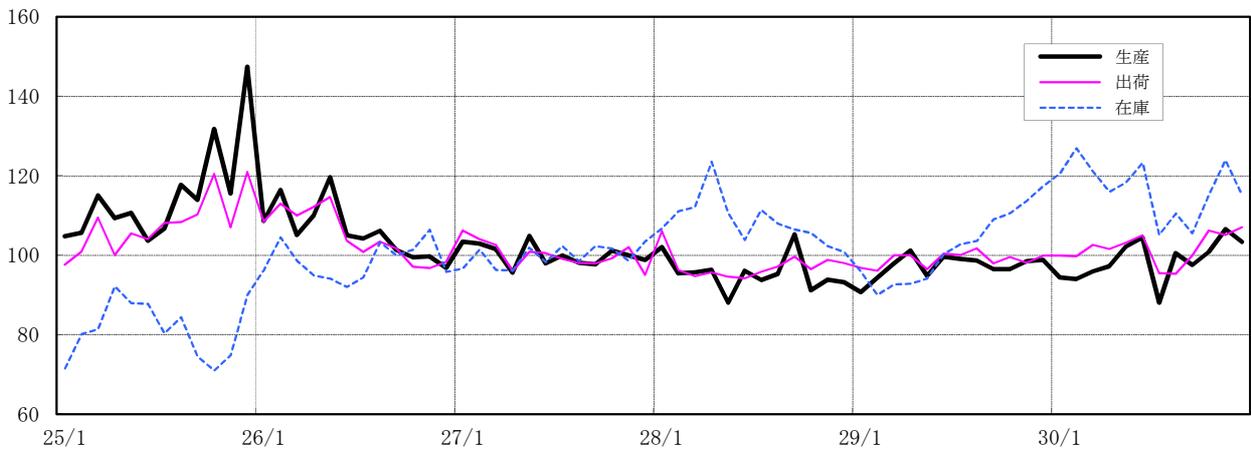
食料品・たばこ工業（付加価値額 \times 813.8）



木材・木製品工業（付加価値額 \times 161.5）

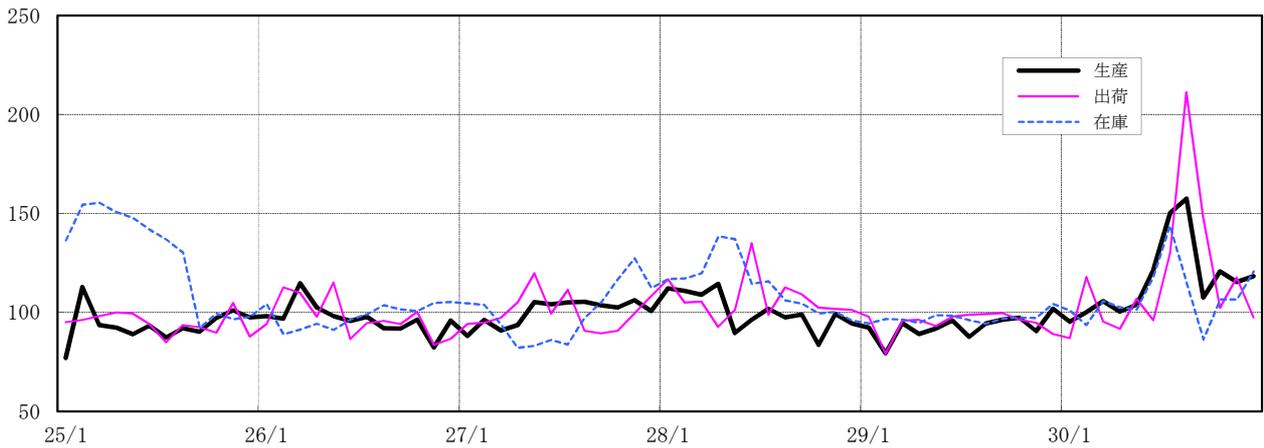


ゴム製品工業（付加価値額ウェイト=142.7）



(年/月)

家具工業（付加価値額ウェイト=61.9）

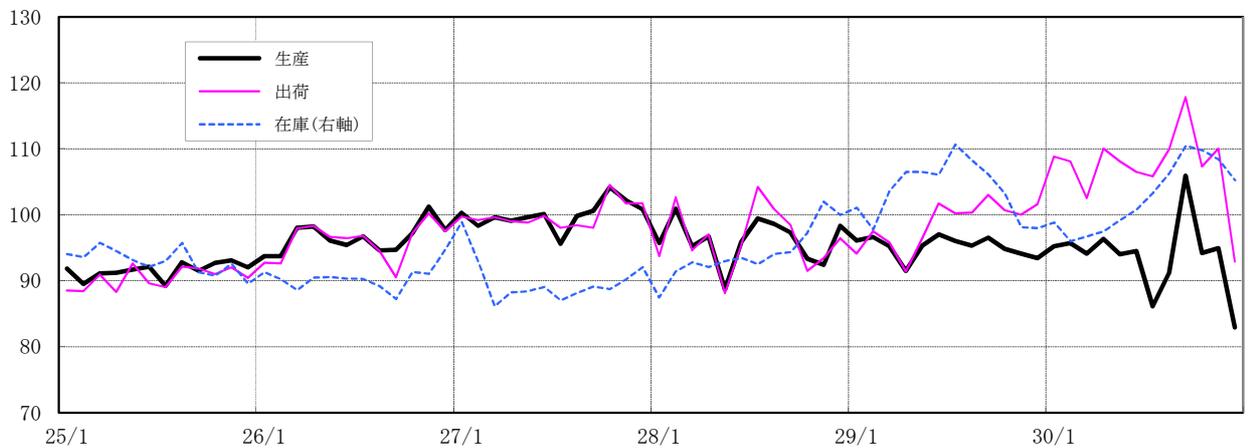


(年/月)

生産・出荷

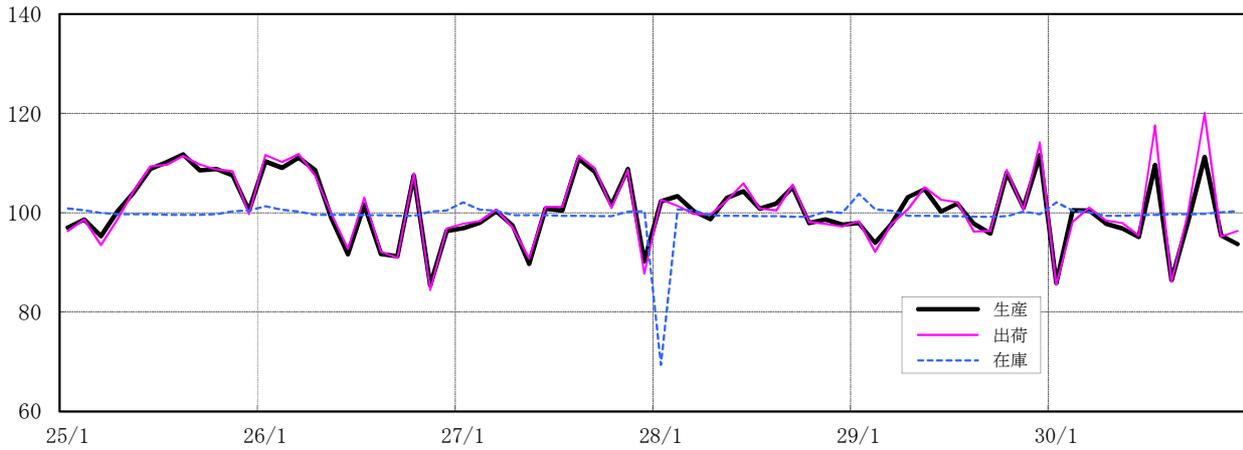
その他製品工業（付加価値額ウェイト=223.3）

在庫



(年/月)

鉱業（付加価値額ウエイト＝1.9）

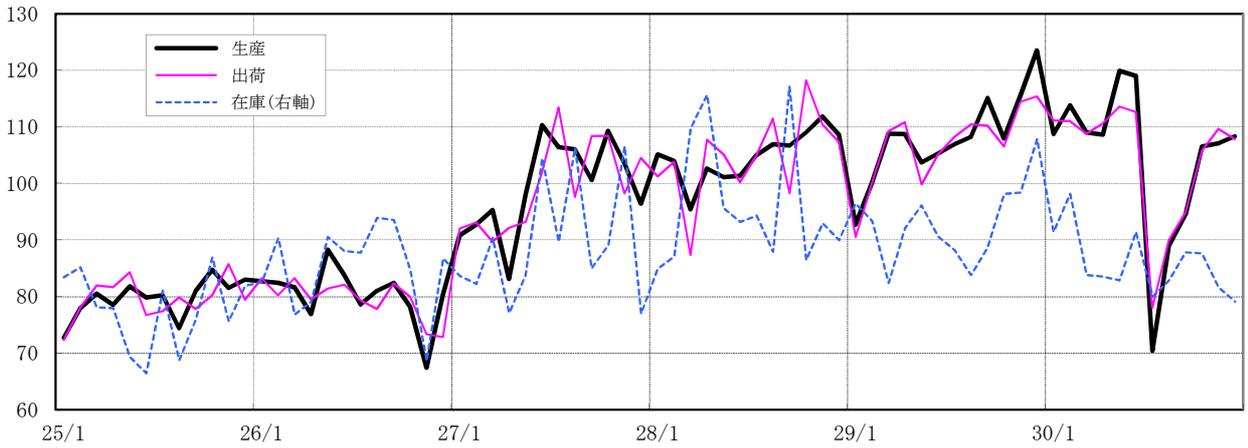


(年/月)

生産・出荷

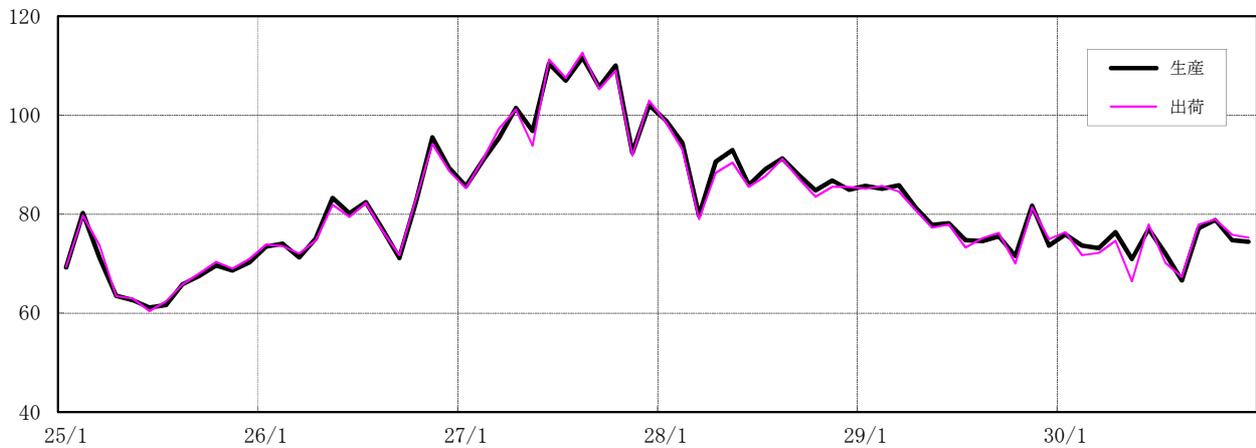
【参考】自動車部門（付加価値額ウエイト＝2605.0）

在庫



(年/月)

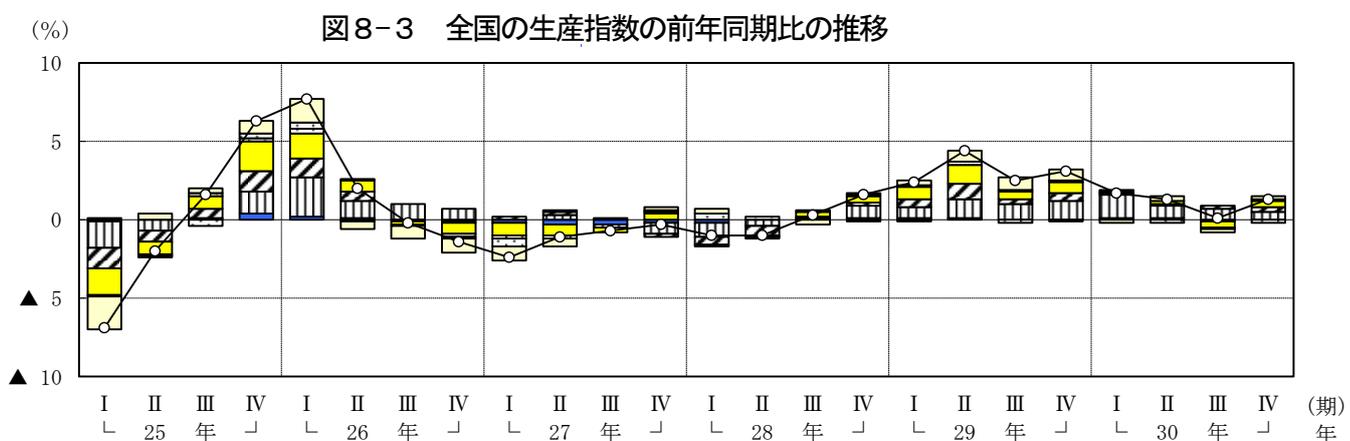
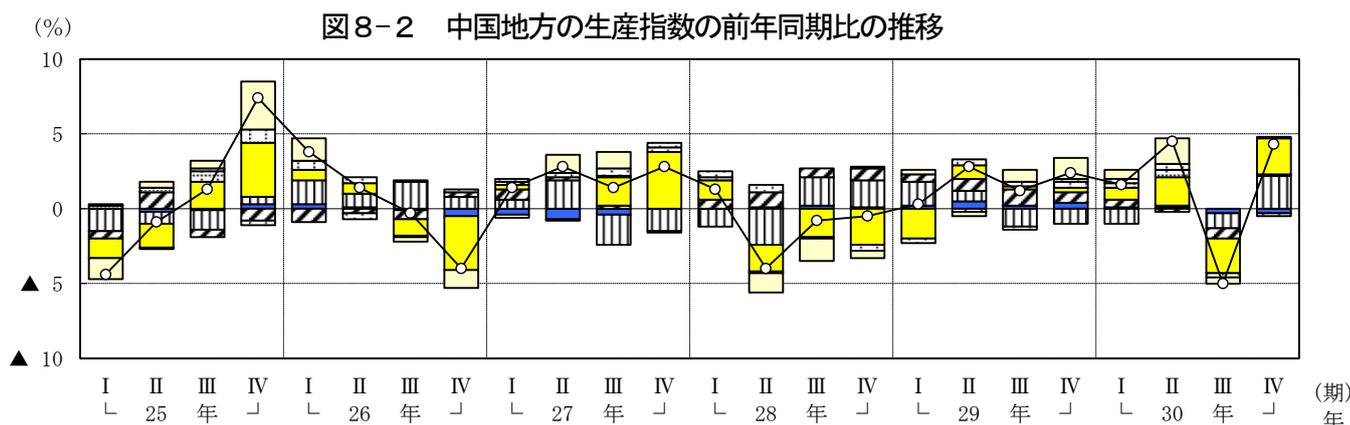
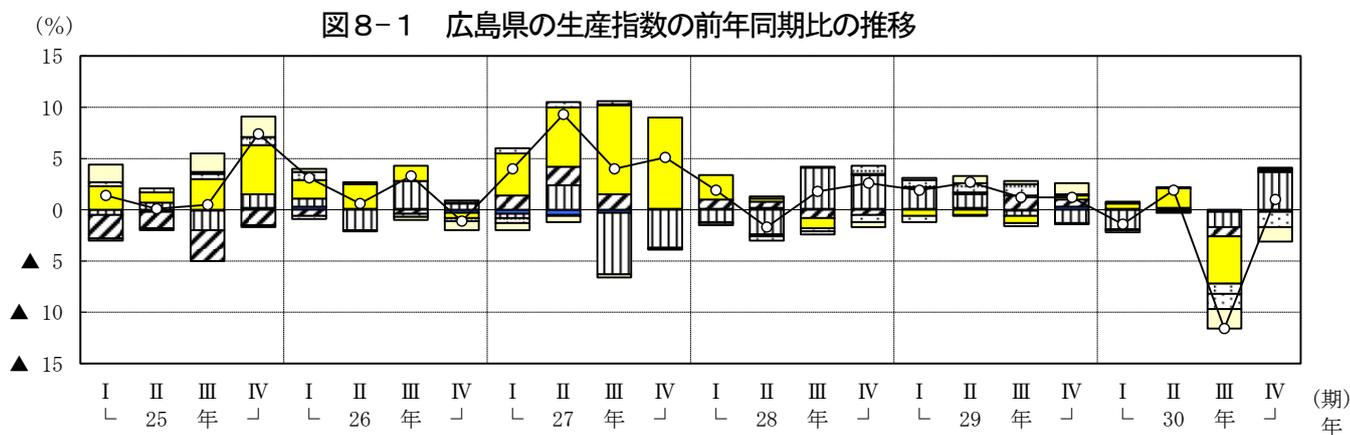
【参考】造船部門（付加価値額ウエイト＝761.3）



(年/月)

5 広島県、中国地方及び全国における生産指数の推移

平成30年を四半期ごとにみると、広島県ではⅡ期とⅣ期は前年同期を上回ったが、Ⅰ期とⅢ期は前年同期を下回った(図8-1)。中国地方ではⅠ期からⅡ期とⅣ期は前年同期を上回ったが、Ⅲ期は前年同期を下回った(図8-2)。全国では全期で前年同期を上回った(図8-3)。



■ 鉄鋼 ■ 一般機械(総合) ■ 電気機械(総合) ■ 輸送機械 ■ プラスチック製品 ■ 食料品・たばこ ■ その他 ○ 鉱工業

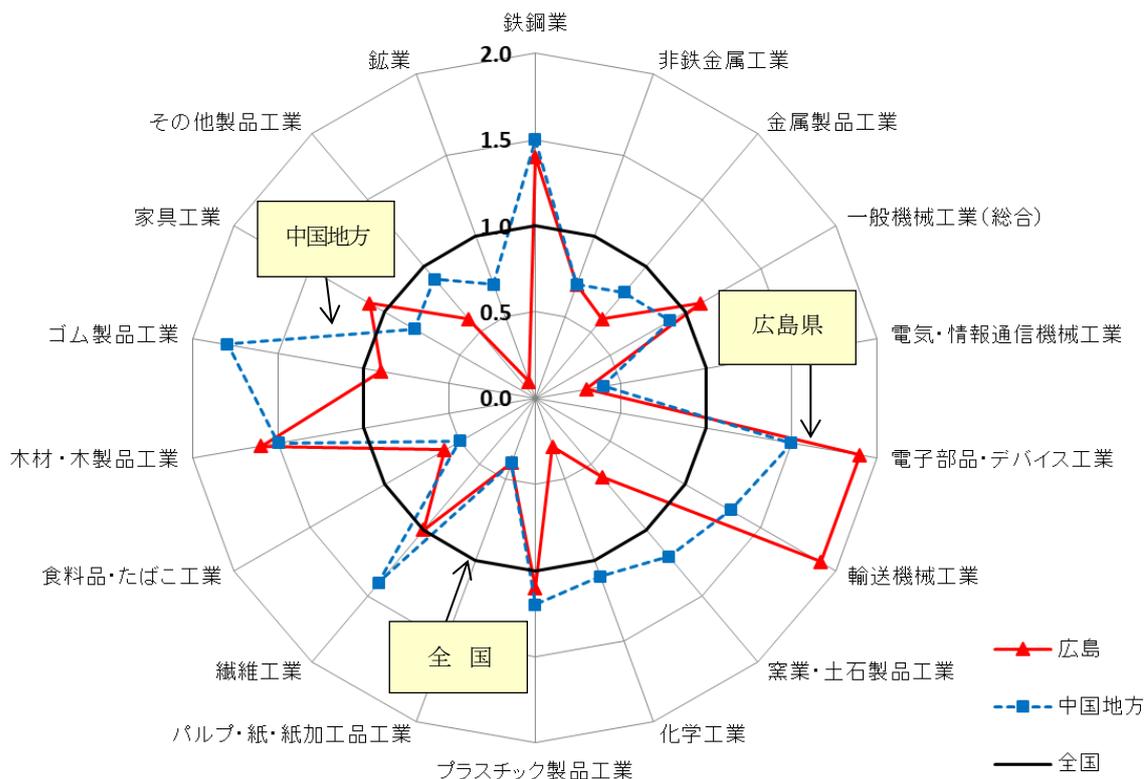
出所: 中国地方…「中国地域鉱工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鉱工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

【参考】 生産指数の付加価値額ウェイト(平成27年基準)について

特化係数^(注)を用いて、広島県の業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるかみると、全国との比較では、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、木材・木製品工業、鉄鋼業の特化の度合いが大きい一方、鉱業、電気・情報通信機械工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業の特化の度合いが小さい(図9)。

中国地方との比較では、輸送機械工業、家具工業、電子部品・デバイス工業の特化の度合いが大きい、鉱業、化学工業、ゴム製品工業の特化の度合いが小さい(図9)。

図9 業種における広島県及び中国地方の特化係数
(各特化係数は、平成27年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



| 生産(付加価値額)ウェイト | 鉄鋼業 | 非鉄金属工業 | 金属製品工業 | 一般機械工業(総合) | 電気・情報通信機械工業 | 電子部品・デバイス工業 | 輸送機械工業 | 窯業・土石製品工業 | 化学工業 | プラスチック製品工業 | パルプ・紙・紙加工品工業 | 繊維工業 | 食品・たばこ工業 | 木材・木製品工業 | ゴム製品工業 | 家具工業 | その他製品工業 | 鉱業 |
|---------------|-------|--------|--------|------------|-------------|-------------|--------|-----------|--------|------------|--------------|-------|----------|----------|--------|------|---------|------|
| 広島 | 600.3 | 148.8 | 276.0 | 1605.0 | 280.9 | 1091.1 | 3327.2 | 202.0 | 302.5 | 504.9 | 82.9 | 173.3 | 813.8 | 161.5 | 142.7 | 61.9 | 223.3 | 1.9 |
| 中国地方 | 638.7 | 143.4 | 362.5 | 1334.7 | 327.9 | 881.5 | 2315.5 | 376.7 | 1219.5 | 543.9 | 90.0 | 259.2 | 677.6 | 152.1 | 270.0 | 45.1 | 350.2 | 11.5 |
| 全国 | 423.2 | 201.6 | 438.1 | 1436.6 | 839.3 | 580.8 | 1796.5 | 322.0 | 1093.0 | 441.7 | 226.5 | 182.2 | 1313.8 | 98.2 | 150.8 | 54.0 | 384.7 | 17.0 |

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域において、その業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域において、その業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

別表 広島県、中国地方及び全国の生産指数

(平成27年平均=100)

| 年・期・月 | 広島県 | | | | 中国地方 | | | | 全国 | | | |
|----------|-------------|------------|-------|--------------|-------------|------------|-------|--------------|-------------|------------|-------|--------------|
| | 季節調整 済指数 | 前月(期) 比 | 原指数 | 前年(同 月期)比 | 季節調整 済指数 | 前月(期) 比 | 原指数 | 前年(同 月期)比 | 季節調整 済指数 | 前月(期) 比 | 原指数 | 前年(同 月期)比 |
| 平成 25年 | / | / | 93.4 | 2.3 | / | / | 97.8 | 0.7 | / | / | 99.2 | ▲ 0.4 |
| 26年 | | | 94.7 | 1.4 | | | 98.0 | 0.2 | | | 101.2 | 2.0 |
| 27年 | | | 100.0 | 5.6 | | | 100.0 | 2.0 | | | 100.0 | ▲ 1.2 |
| 28年 | | | 101.2 | 1.2 | | | 99.0 | ▲ 1.0 | | | 100.0 | 0.0 |
| 29年 | | | 102.9 | 1.7 | | | 100.6 | 1.6 | | | 103.1 | 3.1 |
| 30年 | | | 100.3 | ▲ 2.5 | | | 102.0 | 1.4 | | | 104.2 | 1.1 |
| 平成25年Ⅰ期 | 91.2 | 2.0 | 93.1 | 1.4 | 95.7 | 0.8 | 95.1 | ▲ 4.4 | 96.3 | 0.5 | 96.2 | ▲ 6.9 |
| Ⅱ期 | 93.6 | 2.6 | 90.6 | 0.1 | 96.4 | 0.7 | 94.9 | ▲ 0.9 | 98.4 | 2.2 | 97.0 | ▲ 2.0 |
| Ⅲ期 | 92.8 | ▲ 0.9 | 93.6 | 0.5 | 97.9 | 1.6 | 99.2 | 1.3 | 100.3 | 1.9 | 100.7 | 1.6 |
| Ⅳ期 | 95.3 | 2.7 | 96.3 | 7.4 | 101.2 | 3.4 | 102.0 | 7.4 | 101.6 | 1.3 | 103.0 | 6.3 |
| 26年Ⅰ期 | 94.7 | ▲ 0.6 | 96.0 | 3.1 | 99.2 | ▲ 2.0 | 98.7 | 3.8 | 103.6 | 2.0 | 103.6 | 7.7 |
| Ⅱ期 | 93.8 | ▲ 1.0 | 91.1 | 0.6 | 97.9 | ▲ 1.3 | 96.2 | 1.4 | 100.6 | ▲ 2.9 | 98.9 | 2.0 |
| Ⅲ期 | 95.6 | 1.9 | 96.7 | 3.3 | 97.8 | ▲ 0.1 | 98.9 | ▲ 0.3 | 100.1 | ▲ 0.5 | 100.5 | ▲ 0.2 |
| Ⅳ期 | 94.8 | ▲ 0.8 | 95.2 | ▲ 1.1 | 97.2 | ▲ 0.6 | 97.9 | ▲ 4.0 | 100.2 | 0.1 | 101.6 | ▲ 1.4 |
| 27年Ⅰ期 | 98.3 | 3.7 | 99.8 | 4.0 | 100.1 | 3.0 | 100.1 | 1.4 | 100.7 | 0.5 | 101.1 | ▲ 2.4 |
| Ⅱ期 | 102.6 | 4.4 | 99.6 | 9.3 | 100.9 | 0.8 | 98.9 | 2.8 | 99.8 | ▲ 0.9 | 97.8 | ▲ 1.1 |
| Ⅲ期 | 100.0 | ▲ 2.5 | 100.6 | 4.0 | 99.6 | ▲ 1.3 | 100.3 | 1.4 | 99.8 | 0.0 | 99.8 | ▲ 0.7 |
| Ⅳ期 | 99.7 | ▲ 0.3 | 100.1 | 5.1 | 99.9 | 0.3 | 100.6 | 2.8 | 99.7 | ▲ 0.1 | 101.3 | ▲ 0.3 |
| 28年Ⅰ期 | 101.0 | 1.3 | 101.7 | 1.9 | 100.1 | 0.2 | 101.4 | 1.3 | 99.7 | 0.0 | 100.1 | ▲ 1.0 |
| Ⅱ期 | 100.7 | ▲ 0.3 | 97.9 | ▲ 1.7 | 97.0 | ▲ 3.1 | 94.9 | ▲ 4.0 | 99.0 | ▲ 0.7 | 96.8 | ▲ 1.0 |
| Ⅲ期 | 101.8 | 1.1 | 102.4 | 1.8 | 98.9 | 2.0 | 99.5 | ▲ 0.8 | 100.3 | 1.3 | 100.1 | 0.3 |
| Ⅳ期 | 102.9 | 1.1 | 102.7 | 2.6 | 99.7 | 0.8 | 100.1 | ▲ 0.5 | 101.7 | 1.4 | 102.9 | 1.6 |
| 29年Ⅰ期 | 101.8 | ▲ 1.1 | 103.6 | 1.9 | 100.7 | 1.0 | 101.7 | 0.3 | 101.3 | ▲ 0.4 | 102.5 | 2.4 |
| Ⅱ期 | 102.5 | 0.7 | 100.5 | 2.7 | 99.6 | ▲ 1.1 | 97.6 | 2.8 | 103.2 | 1.9 | 101.1 | 4.4 |
| Ⅲ期 | 102.7 | 0.2 | 103.6 | 1.2 | 100.4 | 0.8 | 100.7 | 1.2 | 103.2 | 0.0 | 102.6 | 2.5 |
| Ⅳ期 | 103.4 | 0.7 | 103.9 | 1.2 | 101.8 | 1.4 | 102.5 | 2.4 | 104.4 | 1.2 | 106.1 | 3.1 |
| 30年Ⅰ期 | 102.0 | ▲ 1.4 | 102.1 | ▲ 1.4 | 102.5 | 0.7 | 103.3 | 1.6 | 103.5 | ▲ 0.9 | 104.2 | 1.7 |
| Ⅱ期 | 104.5 | 2.5 | 102.4 | 1.9 | 104.6 | 2.0 | 102.0 | 4.5 | 104.3 | 0.8 | 102.4 | 1.3 |
| Ⅲ期 | 91.2 | ▲ 12.7 | 91.6 | ▲ 11.6 | 95.4 | ▲ 8.8 | 95.7 | ▲ 5.0 | 103.6 | ▲ 0.7 | 102.7 | 0.1 |
| Ⅳ期 | 102.9 | 12.8 | 104.9 | 1.0 | 105.4 | 10.5 | 106.9 | 4.3 | 105.0 | 1.4 | 107.5 | 1.3 |
| 平成25年 1月 | 87.6 | ▲ 3.5 | 84.0 | ▲ 0.6 | 94.1 | ▲ 0.1 | 89.7 | ▲ 3.7 | 94.8 | ▲ 1.7 | 89.1 | ▲ 5.7 |
| 2月 | 89.9 | 2.6 | 87.9 | ▲ 2.2 | 96.5 | 2.6 | 93.1 | ▲ 6.1 | 96.5 | 1.8 | 94.0 | ▲ 9.0 |
| 3月 | 96.1 | 6.9 | 107.5 | 6.3 | 96.5 | 0.0 | 102.5 | ▲ 3.6 | 97.7 | 1.2 | 105.6 | ▲ 5.8 |
| 4月 | 94.4 | ▲ 1.8 | 93.1 | 5.9 | 97.5 | 1.0 | 94.9 | 1.0 | 97.7 | 0.0 | 96.3 | ▲ 1.3 |
| 5月 | 91.5 | ▲ 3.1 | 86.7 | 2.1 | 96.1 | ▲ 1.4 | 94.1 | 1.6 | 99.3 | 1.6 | 95.8 | 0.1 |
| 6月 | 94.9 | 3.7 | 92.1 | ▲ 6.7 | 95.7 | ▲ 0.4 | 95.7 | ▲ 5.2 | 98.2 | ▲ 1.1 | 98.8 | ▲ 4.6 |
| 7月 | 94.5 | ▲ 0.4 | 100.4 | 6.9 | 98.2 | 2.6 | 104.8 | 4.9 | 99.8 | 1.6 | 105.5 | 1.4 |
| 8月 | 91.4 | ▲ 3.3 | 86.2 | ▲ 4.3 | 96.7 | ▲ 1.5 | 92.2 | ▲ 4.5 | 100.0 | 0.2 | 93.1 | ▲ 1.4 |
| 9月 | 92.4 | 1.1 | 94.3 | ▲ 1.0 | 98.8 | 2.2 | 100.7 | 3.4 | 101.0 | 1.0 | 103.5 | 4.8 |
| 10月 | 98.1 | 6.2 | 99.2 | 12.5 | 101.8 | 3.0 | 104.0 | 10.4 | 101.2 | 0.2 | 104.4 | 5.8 |
| 11月 | 95.2 | ▲ 3.0 | 96.1 | 6.5 | 102.8 | 1.0 | 102.3 | 7.5 | 101.8 | 0.6 | 102.1 | 5.4 |
| 12月 | 92.7 | ▲ 2.6 | 93.7 | 3.2 | 99.0 | ▲ 3.7 | 99.6 | 4.1 | 101.8 | 0.0 | 102.6 | 8.0 |
| 平成26年 1月 | 93.6 | 1.0 | 90.1 | 7.3 | 100.7 | 1.7 | 96.1 | 7.1 | 103.8 | 2.0 | 98.0 | 10.0 |
| 2月 | 96.4 | 3.0 | 94.4 | 7.4 | 98.5 | ▲ 2.2 | 95.4 | 2.5 | 102.7 | ▲ 1.1 | 100.2 | 6.6 |
| 3月 | 94.2 | ▲ 2.3 | 103.4 | ▲ 3.8 | 98.3 | ▲ 0.2 | 104.7 | 2.1 | 104.2 | 1.5 | 112.7 | 6.7 |
| 4月 | 91.2 | ▲ 3.2 | 89.9 | ▲ 3.4 | 97.6 | ▲ 0.7 | 95.0 | 0.1 | 99.6 | ▲ 4.4 | 98.1 | 1.9 |
| 5月 | 96.4 | 5.7 | 90.3 | 4.2 | 98.5 | 0.9 | 95.3 | 1.3 | 101.9 | 2.3 | 96.3 | 0.5 |
| 6月 | 93.7 | ▲ 2.8 | 93.1 | 1.1 | 97.6 | ▲ 0.9 | 98.4 | 2.8 | 100.3 | ▲ 1.6 | 102.4 | 3.6 |
| 7月 | 96.3 | 2.8 | 102.8 | 2.4 | 99.3 | 1.7 | 105.7 | 0.9 | 100.1 | ▲ 0.2 | 105.5 | 0.0 |
| 8月 | 94.9 | ▲ 1.5 | 88.2 | 2.3 | 98.0 | ▲ 1.3 | 91.9 | ▲ 0.3 | 99.5 | ▲ 0.6 | 90.9 | ▲ 2.4 |
| 9月 | 95.7 | 0.8 | 99.1 | 5.1 | 96.2 | ▲ 1.8 | 99.2 | ▲ 1.5 | 100.7 | 1.2 | 105.0 | 1.4 |
| 10月 | 94.9 | ▲ 0.8 | 96.5 | ▲ 2.7 | 97.3 | 1.1 | 99.3 | ▲ 4.5 | 100.4 | ▲ 0.3 | 103.7 | ▲ 0.7 |
| 11月 | 92.4 | ▲ 2.6 | 89.5 | ▲ 6.9 | 96.8 | ▲ 0.5 | 94.6 | ▲ 7.5 | 100.4 | 0.0 | 98.6 | ▲ 3.4 |

(平成27年平均=100)

| 年 月 | 広 島 県 | | | | 中 国 地 方 | | | | 全 国 | | | |
|----------|-------------|------------|-------|--------------|-------------|------------|-------|--------------|-------------|------------|-------|--------------|
| | 季節調整 済指数 | 前月(期) 比 | 原指数 | 前年(同 月期)比 | 季節調整 済指数 | 前月(期) 比 | 原指数 | 前年(同 月期)比 | 季節調整 済指数 | 前月(期) 比 | 原指数 | 前年(同 月期)比 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 平成26年12月 | 97.1 | 5.1 | 99.6 | 6.3 | 97.6 | 0.8 | 99.8 | 0.2 | 99.9 | ▲ 0.5 | 102.5 | ▲ 0.1 |
| 平成27年 1月 | 100.4 | 3.4 | 95.1 | 5.5 | 103.3 | 5.8 | 97.6 | 1.6 | 102.9 | 3.0 | 95.9 | ▲ 2.1 |
| 2月 | 97.8 | ▲ 2.6 | 96.1 | 1.8 | 98.9 | ▲ 4.3 | 96.0 | 0.6 | 99.8 | ▲ 3.0 | 97.4 | ▲ 2.8 |
| 3月 | 96.6 | ▲ 1.2 | 108.2 | 4.6 | 98.2 | ▲ 0.7 | 106.8 | 2.0 | 99.3 | ▲ 0.5 | 110.0 | ▲ 2.4 |
| 4月 | 97.8 | 1.2 | 96.2 | 7.0 | 98.8 | 0.6 | 96.2 | 1.3 | 99.5 | 0.2 | 97.9 | ▲ 0.2 |
| 5月 | 102.8 | 5.1 | 93.4 | 3.4 | 101.8 | 3.0 | 96.6 | 1.4 | 99.5 | 0.0 | 91.4 | ▲ 5.1 |
| 6月 | 107.2 | 4.3 | 109.1 | 17.2 | 102.1 | 0.3 | 103.8 | 5.5 | 100.4 | 0.9 | 104.1 | 1.7 |
| 7月 | 98.8 | ▲ 7.8 | 105.9 | 3.0 | 97.8 | ▲ 4.2 | 103.9 | ▲ 1.7 | 100.3 | ▲ 0.1 | 105.3 | ▲ 0.2 |
| 8月 | 99.4 | 0.6 | 92.9 | 5.3 | 99.1 | 1.3 | 92.9 | 1.1 | 98.6 | ▲ 1.7 | 90.1 | ▲ 0.9 |
| 9月 | 101.8 | 2.4 | 102.9 | 3.8 | 101.8 | 2.7 | 104.2 | 5.0 | 100.6 | 2.0 | 104.1 | ▲ 0.9 |
| 10月 | 102.2 | 0.4 | 102.4 | 6.1 | 100.9 | ▲ 0.9 | 101.4 | 2.1 | 100.7 | 0.1 | 102.3 | ▲ 1.4 |
| 11月 | 99.7 | ▲ 2.4 | 98.0 | 9.5 | 100.0 | ▲ 0.9 | 99.1 | 4.8 | 99.9 | ▲ 0.8 | 100.2 | 1.6 |
| 12月 | 97.3 | ▲ 2.4 | 99.8 | 0.2 | 98.8 | ▲ 1.2 | 101.4 | 1.6 | 98.5 | ▲ 1.4 | 101.3 | ▲ 1.2 |
| 平成28年 1月 | 102.1 | 4.9 | 95.2 | 0.1 | 103.7 | 5.0 | 96.9 | ▲ 0.7 | 100.1 | 1.6 | 91.9 | ▲ 4.2 |
| 2月 | 102.1 | 0.0 | 100.8 | 4.9 | 98.1 | ▲ 5.4 | 99.2 | 3.3 | 99.2 | ▲ 0.9 | 97.3 | ▲ 0.1 |
| 3月 | 98.9 | ▲ 3.1 | 109.1 | 0.8 | 98.5 | 0.4 | 108.0 | 1.1 | 99.7 | 0.5 | 111.2 | 1.1 |
| 4月 | 102.1 | 3.2 | 98.5 | 2.4 | 101.0 | 2.5 | 97.1 | 0.9 | 99.3 | ▲ 0.4 | 96.0 | ▲ 1.9 |
| 5月 | 100.0 | ▲ 2.1 | 92.7 | ▲ 0.7 | 93.9 | ▲ 7.0 | 90.1 | ▲ 6.7 | 98.5 | ▲ 0.8 | 91.6 | 0.2 |
| 6月 | 99.9 | ▲ 0.1 | 102.4 | ▲ 6.1 | 96.1 | 2.3 | 97.6 | ▲ 6.0 | 99.2 | 0.7 | 102.8 | ▲ 1.2 |
| 7月 | 102.3 | 2.4 | 106.1 | 0.2 | 97.0 | 0.9 | 100.2 | ▲ 3.6 | 99.8 | 0.6 | 101.1 | ▲ 4.0 |
| 8月 | 102.7 | 0.4 | 97.8 | 5.3 | 99.6 | 2.7 | 95.1 | 2.4 | 100.5 | 0.7 | 94.2 | 4.6 |
| 9月 | 100.3 | ▲ 2.3 | 103.2 | 0.3 | 100.2 | 0.6 | 103.2 | ▲ 1.0 | 100.7 | 0.2 | 105.1 | 1.0 |
| 10月 | 101.8 | 1.5 | 100.4 | ▲ 2.0 | 98.8 | ▲ 1.4 | 97.8 | ▲ 3.6 | 101.0 | 0.3 | 101.0 | ▲ 1.3 |
| 11月 | 101.9 | 0.1 | 102.0 | 4.1 | 99.4 | 0.6 | 99.9 | 0.8 | 102.0 | 1.0 | 104.3 | 4.1 |
| 12月 | 105.1 | 3.1 | 105.8 | 6.0 | 101.0 | 1.6 | 102.6 | 1.2 | 102.0 | 0.0 | 103.4 | 2.1 |
| 平成29年 1月 | 97.5 | ▲ 7.2 | 92.5 | ▲ 2.8 | 98.3 | ▲ 2.7 | 93.2 | ▲ 3.8 | 100.9 | ▲ 1.1 | 94.3 | 2.6 |
| 2月 | 99.1 | 1.6 | 99.4 | ▲ 1.4 | 101.5 | 3.3 | 99.4 | 0.2 | 101.6 | 0.7 | 100.1 | 2.9 |
| 3月 | 108.8 | 9.8 | 119.0 | 9.1 | 102.4 | 0.9 | 112.4 | 4.1 | 101.5 | ▲ 0.1 | 113.1 | 1.7 |
| 4月 | 103.2 | ▲ 5.1 | 100.0 | 1.5 | 101.5 | ▲ 0.9 | 97.0 | ▲ 0.1 | 104.1 | 2.6 | 99.8 | 4.0 |
| 5月 | 101.0 | ▲ 2.1 | 95.3 | 2.8 | 96.8 | ▲ 4.6 | 93.8 | 4.1 | 102.3 | ▲ 1.7 | 96.5 | 5.3 |
| 6月 | 103.2 | 2.2 | 106.3 | 3.8 | 100.6 | 3.9 | 102.1 | 4.6 | 103.3 | 1.0 | 107.1 | 4.2 |
| 7月 | 101.6 | ▲ 1.6 | 105.5 | ▲ 0.6 | 101.0 | 0.4 | 104.0 | 3.8 | 102.5 | ▲ 0.8 | 103.7 | 2.6 |
| 8月 | 103.7 | 2.1 | 99.3 | 1.5 | 100.8 | ▲ 0.2 | 96.4 | 1.4 | 104.0 | 1.5 | 97.6 | 3.6 |
| 9月 | 102.9 | ▲ 0.8 | 105.9 | 2.6 | 99.3 | ▲ 1.5 | 101.7 | ▲ 1.5 | 103.0 | ▲ 1.0 | 106.5 | 1.3 |
| 10月 | 101.3 | ▲ 1.6 | 101.6 | 1.2 | 100.2 | 0.9 | 100.2 | 2.5 | 103.3 | 0.3 | 105.0 | 4.0 |
| 11月 | 105.3 | 3.9 | 105.3 | 3.2 | 102.4 | 2.2 | 103.0 | 3.1 | 104.2 | 0.9 | 106.6 | 2.2 |
| 12月 | 103.7 | ▲ 1.5 | 104.9 | ▲ 0.9 | 102.9 | 0.5 | 104.2 | 1.6 | 105.8 | 1.5 | 106.7 | 3.2 |
| 平成30年 1月 | 101.2 | ▲ 2.4 | 95.7 | 3.5 | 101.5 | ▲ 1.4 | 96.8 | 3.9 | 101.4 | ▲ 4.2 | 95.6 | 1.4 |
| 2月 | 101.9 | 0.7 | 99.2 | ▲ 0.2 | 102.3 | 0.8 | 99.6 | 0.2 | 104.0 | 2.6 | 101.0 | 0.9 |
| 3月 | 103.0 | 1.1 | 111.3 | ▲ 6.5 | 103.8 | 1.5 | 113.5 | 1.0 | 105.1 | 1.1 | 115.9 | 2.5 |
| 4月 | 103.9 | 0.9 | 100.5 | 0.5 | 103.2 | ▲ 0.6 | 99.5 | 2.6 | 104.5 | ▲ 0.6 | 101.7 | 1.9 |
| 5月 | 103.9 | 0.0 | 98.5 | 3.4 | 104.7 | 1.5 | 99.9 | 6.5 | 104.8 | 0.3 | 99.9 | 3.5 |
| 6月 | 105.7 | 1.7 | 108.3 | 1.9 | 105.8 | 1.1 | 106.6 | 4.4 | 103.7 | ▲ 1.0 | 105.5 | ▲ 1.5 |
| 7月 | 84.0 | ▲ 20.5 | 86.3 | ▲ 18.2 | 90.9 | ▲ 14.1 | 94.4 | ▲ 9.2 | 103.8 | 0.1 | 106.2 | 2.4 |
| 8月 | 91.6 | 9.0 | 89.0 | ▲ 10.4 | 96.9 | 6.6 | 94.2 | ▲ 2.3 | 103.6 | ▲ 0.2 | 98.2 | 0.6 |
| 9月 | 98.1 | 7.1 | 99.6 | ▲ 5.9 | 98.4 | 1.5 | 98.4 | ▲ 3.2 | 103.5 | ▲ 0.1 | 103.8 | ▲ 2.5 |
| 10月 | 101.9 | 3.9 | 104.8 | 3.1 | 104.9 | 6.6 | 106.1 | 5.9 | 105.6 | 2.0 | 109.4 | 4.2 |
| 11月 | 103.3 | 1.4 | 106.6 | 1.2 | 106.5 | 1.5 | 109.0 | 5.8 | 104.6 | ▲ 0.9 | 108.6 | 1.9 |
| 12月 | 103.5 | 0.2 | 103.4 | ▲ 1.4 | 104.7 | ▲ 1.7 | 105.5 | 1.2 | 104.7 | 0.1 | 104.6 | ▲ 2.0 |

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）
全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）